

特定非営利活動法人  
エイズ孤児支援NGO・PLAS

# PLAS POST

DECEMBER,  
2021

# 2021



 PLAS

わたしたちは、取り残された子どもたちが前向きに生きられる社会を目指します





## 活動の御礼とご挨拶

社会を良い方へ、前進させる

本年も温かいご支援、応援を頂戴し誠にありがとうございました。20年5月に新ミッションを策定し、新たな気持ちで向かった1年でした。

新型コロナウイルス感染症の猛威が依然として世界を覆う中、現地渡航を再開することができ、アフリカの現地パートナー団体や子どもたち、保護者の方たちと顔を合わせることができるようになりました。日本の支援者のみなさまとは、オンラインでのコミュニケーションが続いていますが、応援の声をいただき、その一つ一つが私たちや子どもたちの力となっています。心より御礼申し上げます。みなさんと共に、社会を少しでも良い方へ動かしていくことができるよう、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事  
門田瑠衣子



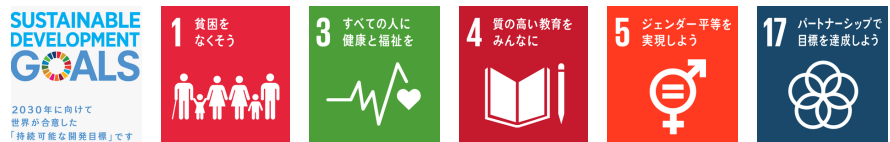
# PLASのビジョン

わたしたちは、取り残された子どもたちが前向きに生きられる社会を目指します。

# PLASのミッション

アフリカで取り残される孤児や貧困家庭の子どもたちが前向きに生きられるよう、地域社会と共に課題解決に取り組めます。

PLASはSDGsに取り組んでいます



## アフリカでの活動一覧

| 国    | プロジェクト   |
|------|--|
| ウガンダ | <ul style="list-style-type: none"><li>• カフェ・ビジネスによるシングルマザーの生計向上事業(CAFE)3期、4期</li><li>• HIV陽性ユースのための技術訓練事業(BRIGHT)1期</li><li>• HIV陽性者のアドヒアランス向上支援(PATH+)</li><li>• HIV陽性の脆弱な家庭に対する農業を通じた生計向上とキャリアプランニング支援事業(SMILE)</li><li>• HIV陽性者家庭の生計向上・栄養改善のための在来種野菜栽培支援(SHINE)2期</li></ul> |
| ケニア  | <ul style="list-style-type: none"><li>• エイズ孤児を抱える貧困家庭の生計向上とキャリアプランニング支援事業(FLOWER) 草の根技術協力事業(草の根パートナー型)</li></ul>   |



# 活動のハイライト

2021年の成果



編集者より

## 502人

の子どもを支援

地域の未来を担う子どもたちが、前向きに未来に向かって進んでいけるよう支援を届けました。



## 3246人

に食糧と石鹸を支援

ウガンダとケニアで新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人々に支援を届けました。



## 102家庭

を新たに支援

カウンセリングと生計向上を通して、エイズの影響を受けるシングルマザー家庭を支援しました。

## 16人

のカウンセラーを育成

ライフプランニング事業を担うカウンセラーを、ケニアとウガンダで育成しました。





# 282人

## がイベント参加

オンラインで、世界各国、全国からたくさんの方にイベントにご参加いただくことができました。



# 51人

## チャリティーオークションにご協力頂きました

2021年度は通年でチャリティーオークションを開催し、のべ51名の方にご協力いただきました。新型コロナウイルスの感染拡大がつづき、日本国内でも先行きが不安定な1年間でしたが、約656万円を調達。現地に支援を届けることができました。





# スタッフ・役員一覧

アフリカと日本で共に活動する仲間たち

## PLAS日本事務局・役員



代表理事  
門田瑠衣子



事務局長・理事  
小島美緒



海外事業担当  
山口和美



海外事業担当  
藤原祐希



インターン  
藤田茜



インターン  
高月真里



インターン  
池田ナターリアみ鈴



インターン  
茄子川佳奈



インターン  
都留健司



インターン  
三平桜子



インターン  
柳田和那子



インターン  
高瀬ひかり



インターン  
橋爪由美



インターン  
吉田優里花



インターン  
寺田智美



理事  
赤尾邦和



副代表理事  
一宮暢彦



理事  
鶴見和雄



理事  
横山裕司



監事  
矢崎芽生



監事  
藤本俊明



## PLASケニア事務所

## ウガンダパートナー団体カユンガ



トビアス



パメラ



代表  
ジョイ



秘書  
フィレスター



会計担当  
ジェシカ

## ケニアパートナー団体ビアジェンコ



代表  
ベンソン



コーディネーター  
パンボ



カウンセラー  
ポウリン



カウンセラー  
ベナード



会計士  
リスパー



カウンセラー  
エマ



カウンセラー  
ヒラリー



カウンセラー  
ダン

## ウガンダパートナー団体ヒーレコース



代表  
ムシシ



会計担当  
ハジャラ



CAFE担当  
エバリン



CAFE担当  
ユダヤ



BRIGHT担当  
ナマタ



BRIGHT担当  
シシー



BRIGHT担当  
ベティ



SMILE担当  
ジョアン



SMILE担当  
マヤンジャ



SMILE担当  
シルビア





## ケニアでの活動

子どもたちにより良い教育を

私たちが活動するホマベイ県ビタ準郡は、ケニアの西部に位置し、ビクトリア湖に囲まれた地域です。漁業が盛んで、道端で揚げた魚を販売している女性たちをよく見かけます。この地域の多くの人々は、電気、水道、ガスがない生活を送っています。水は、家からビクトリア湖まで何キロも歩き、20キロの水タンクを頭の上に乗せて運びます。

地域には、貧困によって就学・進学が困難であったり、ロールモデルとなる大人と出会う機会が限られているなどの理由から、自身の将来像やそれに向かっていくためのライフプランを持たずにいる子が多くいます。また、保護者も学校を中退していると、教育の重要性がわからず子どもに適切なサポートができないこともあります。

ライフプランニング支援では、カウンセリングを通して子どもの自己効力感を高め、保護者の行動変容を促します。キャリアプランをつくり、親子で未来を切り開いていけるよう支援しています。

将来はお医者さんになって、病気の人を助けたい。だから高校と大学にいきたいんだ。

今は数学と理科をがんばって、前回のテストよりもっといい点が取れるように勉強しているんだ。

ポールくん (14)



# FLOWER事業

JICA草の根技術協力事業（草の根パートナー型）

## エイズ孤児を抱える貧困家庭の生計向上とキャリアプランニング支援事業（FLOWER）

- 地域：ケニア共和国ホマベイ郡ビタ準区
- 目的：農業と植林を通じた生計向上とカウンセリングによるキャリアプランの作成
- 受益者：孤児や脆弱な環境にいる子どもの家族 50家庭
- 期間：2020年4月～2023年8月

本事業はライフプランニングと生計向上を組み合わせた事業です。ライフプランニングで子どもの将来の夢と計画を立てるとともに、親子間のコミュニケーションを改善します。子どもが進学できるように、カウンセリングの後は農業による生計向上を支援します。50家庭に支援を届ける中で、カウンセラー育成マニュアルや、農業マニュアルを作成し、ノウハウを体系化し他地域や他団体に共有できるよう進めています。

6月～7月にかけて行われた研修では、8名のカウンセラーを育成。これまでPLASのカウンセリングに携わってきた先輩カウンセラーが、新人カウンセラーをリードしながら理解を深めていきました。本番のカウンセリングを始める前に、これまでの受益者に協力してもらい、一通り（子ども7章、保護者7章）のカウンセリングを練習しました。



ビクトリア湖岸地域の新型コロナウイルス感染状況が悪化し、一時は活動を中断しましたが、その後マスクや消毒など感染対策を徹底しながらカウンセリングを再開。

子どもたちが自分の夢を書くセッションでは、教師、医者、看護師、エンジニア、車整備工、弁護士などがカラフルな絵で描かれました。

## 心からの感謝を

コミュニティに寄り添う現地パートナー団体として

VIAGENCOを代表し、またコミュニティや受益者を代表して、私たちの活動を支援してくれたPLASに心からの感謝を申し上げます。また私たちが一緒に実施した活動は、人々の生活にいい影響を与えていることを申し上げます。孤児たちに恵みを与えてくれたカウンセリング・プロジェクトに感謝します。また、さまざまな家族が、フェンスによって食料を得ることができ、多くの恩恵を受けています。このメールは、すべての支援に対する私たちの心からの感謝の気持ちとして受け取ってください。



ベンソン  
ピアジェンコ代表

## いちばん嬉しいこと

子どもが良い方向へ変わっていきっていると聞いたとき

私たちは、JICA・PLAS・VIAGENCOの支援によって、私たちのコミュニティの少し幸運でなかった人や立場のとても弱い人の人生・生き方を変えることができたことに大変感謝しています。特にカウンセリング時に、保護者から子どもたちの性格の変化が見られたことや、子どもとのコミュニケーションがうまくいくようになったとフィードバックをもらえる時がもっとも嬉しく、また重要な点です。



トビアス  
PLASケニア事務所・コンサルタント





## ウガンダでの活動

未来を変える力をつける

PLASのウガンダでの活動地域は、ルウェロ県とジンジャ県の2つ。

ルウェロ県は首都カンパラから北に車で1.5時間ほどの場所にあり、44万人が暮らしています。電気へアクセスできるのはわずか9%。人口の70%は農業に従事し、若者の失業率は64~70%とされています。

ジンジャ県は、首都カンパラから東に車で3時間ほどの場所にあり、ナイル川の源流の地としても知られています。土壌が豊かで農業に適した環境ではあるものの、近年は気候変動の影響を受けて雨量が低下し、農作物の不作など影響を受けています。

HIV陽性のシングルマザーは、5人~10人の子どもや孫を1人で育てている人も少なくありません。自分も貧困で小学校を中退したために職に就けず、すべての子どもの学費を払えずにいます。また抗HIV薬を毎日飲み、栄養ある十分な食料を確保することも課題です。

**BRIGHTに参加して一番大きな変化は新しいスキルを得たことと希望を持てるようになったこと。**

**もっと研修を受けて花嫁のヘア・メイク・ネイルをできるようになりたい。そしてサロンを大きくしたい。**

**マリアムさん (25)**



# CAFE事業

困難を乗り越えて、ビジネスパーソンとして認められたママたち

## カフェ・ビジネスによるシングルマザーの生計向上事業(CAFE)

- 地域：ウガンダ共和国ルウェロ県
- 目的：カフェビジネスを通して生計向上する
- 受益者：HIV陽性シングルマザー 9名（3期）12名（4期）、
- 期間：2019年1月～2020年12月（3期）、2021年4月～2022年3月（4期）



3期のシングルマザーたちが卒業。ママたちは参加した直後からコロナの影響を受け、営業時間の短縮や社会経済の悪化で、売上は伸び悩みました。そうした中でも、現地スタッフが連絡を取り続け「この状況はいつか終わる」とママを励まし、手洗いなど感染症対策をするように声をかけていました。PLASではコロナ禍における店舗の家賃補助を実施。また、ママたちが作ったドーナツを買い取り緊急支援で配布する食糧の中に組み込むなど、ビジネスを続けられるよう支援しました。

コロナという困難を乗り越えたママたちは、より一層たくましく見えました。特に3期のジローブエ村のナチャは、仲間のリタイアによって1人でカフェを切り盛りし3期では一番苦労していましたが、辛抱強くお店を続け、今では4期のママの研修にサポート役として入るほど頼られる存在になっています。

4月からはシングルマザー12人が4期として参加。先輩ママを訪問する「カフェビジット」を初実施しました。先輩の姿に「こんな風になりたい！」と次々と決意表明。しかしその直後に2か月のロックダウンが。その影響で受益者の約半数が入れ替わる事態が起きました。9月に研修を始めると、みんなやる気に満ち溢れ、今ではおいしいケーキをつくることできるようになりました。

# BRIGHT事業

ユースが手に職をつけ、自立できるように

## HIV陽性ユースのための技術訓練事業(BRIGHT)

- 地域：ウガンダ共和国ルウェロ県
- 目的：HIV陽性者ユースがビジネススキルを得て生計向上する
- 受益者：HIV陽性者ユース 50名
- 期間：2019年4月～2021年9月

2021年9月にコストシェアリング（受益者自身が貯蓄し、購入品の一部を負担してもらう仕組み）を完了した23名が卒業。仲間割れなどの問題に直面しながら、研修で技術を磨き、ヘアドレッシングやネイル、スナック作り、ノート作り等自分の得意なスキルを活かし自立してビジネスを続けています。炭売りや洋服売りなど、新たなビジネスを拡大したユースもいます。収入もスキルもなかったユースが、今では自分のビジネスをもち定期的な貯蓄もできるようになりました。10月からは事業計画に改良を加え、2期目がスタートしています。

## コロナでも前を向く

PLASに入職して1年

2021年度は、コロナ禍でありながらもウガンダに2回、ケニアに1回渡航することができました。初めて現地を訪れて、受益者や現地スタッフと直接顔を合わせることができました。特に緊急支援の立ち合いでは、たくさんの「ありがとう」をいただき、命をつなぐことができた実感しました。渡航時は、現地の感染状況を見定め、時には活動を中断するなど臨機応変に判断し進めていく難しさはありましたが、厳しい状況でもコミュニティのために使命感をもって働くスタッフの姿に、勇気とパワーをもらいました。

山口和美  
海外事業  
アシスタントマ  
ネージャー







## PATH+事業

正しい知識で自分たちの健康を守る

### HIV陽性者のアドヒアランス向上支援(PATH+)

- 地域：ウガンダ共和国ルウェロ県
- 目的：HIV陽性者が正しく服用することで健康的に生きる
- 受益者：HIV陽性者グループメンバー140名、ヘルスセンタースタッフ39名
- 期間：2018年4月～2021年3月

HIV陽性者が健康に生きるために、そして安定した収入を得るためにHIV陽性者グループへの農業・植林研修を実施しました。農業局職員から、畝や肥料の作り方、害虫駆除方法などを学びました。農薬を使わず、堆肥や枯れ枝など、安価で地元で手に入るものを使った農法は、収入が低い家庭でも継続的に実施できます。農地に植えたマンゴーやアボカドの木は、実がなるまで時間はかかりますがすくすくと育っています。

## SMILE事業

子どもたちが自分の夢を実現するために

### HIV陽性の脆弱な家庭に対する農業を通じた生計向上とキャリアプランニング支援事業(SMILE)

- 地域：ウガンダ共和国ルウェロ県
- 目的：農業を通じた生計向上とカウンセリングによるキャリアプランの作成
- 受益者：HIV陽性者家庭の子ども40名、保護者40名
- 期間：2021年4月～2022年6月

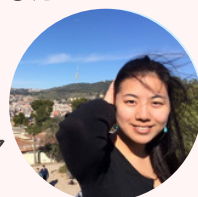
SMILE事業では、貧困家庭の子どもと保護者にカウンセリングを提供し、子どもは自分の夢を描き、保護者は子どもの夢を実現するために必要なサポートができるよう、カウンセラーと一緒に考えていきます。ケニアですで行っているカウンセリング事業のノウハウをウガンダで

## インターンから

職員としてPLASで働く

2021年8月に入職しました。2017～2018年にインターンとしてPLASに入り、初めて国際協力NGOの仕事に触れました。当時の海外事業担当職員の出張精算を手伝い、最初にウガンダのお札に触れたときの、ほこりっぽさと太陽のにおい、日本と全く違う場所で使われてきたのだという感慨を今でも覚えています。ウガンダ・ケニアの現地出張へ行き、コロナ渦でもそのときにできることを精一杯行い、前を向く人々と出会いました。日本の友人に感謝と挨拶を届けてくれと。確かにお届けしました！

藤原祐希  
海外事業  
アシスタントマ  
ネージャー



横展開するために、ケニアのカウンセラーをウガンダに呼び、HE-RECODSのスタッフに研修を行いました。内容はカウンセラーの心構えから現場での対応の仕方など、非常に実践に即した研修で、8人のカウンセラーが育成されました。

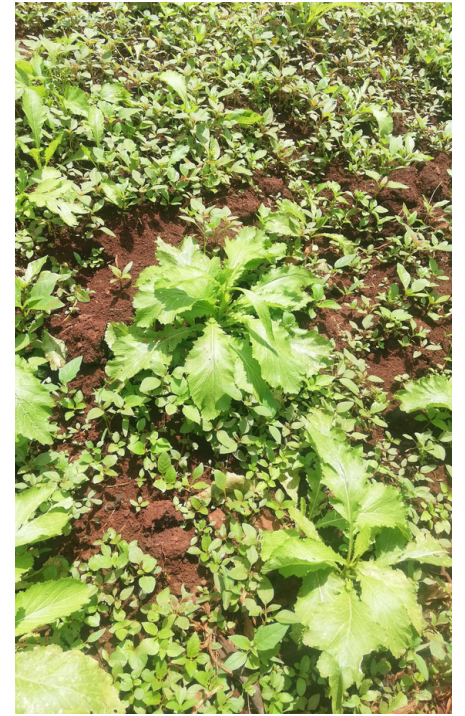
これからカウンセラーは、7か月にわたり、受益者との信頼関係を築きながら継続したカウンセリングを実施していきます。





## SHINE事業

農業を学び、生活を変えていく



HIV陽性者家庭の生計向上・栄養改善のための在来種野菜栽培支援(SHINE) 2期

- 地域：ウガンダ共和国ジンジャ県
- 目的：農業技術を得て、農業で生計をする
- 受益者：HIV陽性者 20家庭
- 期間：2020年1月～12月、2021年1月～12月（フォローアップ期間）

HIV陽性者たちが自分たちで助け合うために設立された団体、カユンガ。メンバーは多くは女性でたくさんのお子様や孫を1人で育てており、食糧を十分に買うお金がなく、栄養が不足しています。栄養不足による体調不良によって、安定して働き続けることができず、収入が十分に得られず、子どもは学校に通うことができなくなります。

生計を向上させるため、グループで土地を借りて農業を始めました。畑で取れた野菜を食べることは、栄養を摂取して健康になること、そして食費を減らし余剰分を販売することで収入を得て、家計を改善することにつながります。

### PLASの支援に感謝

ライフスタイルに大きな変化

私たち、カユンガSHINEのシングルマザーは、子どもたちや孫たちを育てていくために支援が重要であり、SHINEではたくさんのメンバーを抱えているため、さらなる支援を必要としています。そんな中、SHINEの活動によって私たちの日々のライフスタイルがより良いものへと変化していることをとても嬉しく思っています。私たちの生活を大きく変えてくださったPLASや、支援者の皆様に感謝しています。



ジョイ  
カユンガ代表

ロックダウン中はグループ農業ができず、貯蓄活動もストップしてしまいましたが、研修で得た農業スキルのおかげで最低限の食糧を確保することができていたのは大きな救いです。

農業の研修では、農業を始める準備（土の作り方）から栽培方法、収穫と保存、マーケットでの売り方まで学びます。研修では農業カレンダーを作成し、1年でどんな野菜を栽培するかを確認しました。

また栄養研修を実施。保健省職員から栄養素の知識やバランスのよい食事方法を学びました。





## 緊急支援

「生きる」ために食糧と手洗いを

2021年も新型コロナウイルスの感染は拡大を続けました。ウガンダでは第2波の影響を受け、感染者・死者数ともにインドのようなスピードで増加しました。最も多い時期で陽性率は18%を記録しましたが、検査キットの不足で実際はもっと多くの感染者がいたと言われています。6月から2か月間、2回目のロックダウンとなり、人々の生活はまた苦しくなりました。

ケニアでは6月中旬に、事業地ビタを含むビクトリア湖岸地域で一時は21%の陽性率を記録し、同国の平均9%を大きく上回るほどに感染状況が悪化しました。夜間外出制限の強化や県外への移動自粛の要請など、ロックダウンの一手手前のような状況となりました。

PLASは2020年から遠隔で緊急支援を実施していましたが、2021年2月に現地に渡航し、食糧の配布に立ち会うことができました。全3回の緊急支援が終了し、自立のフェーズへと移行しました。

PLASがヒーレコーズを通じて配布した食糧にとっても感謝しています。

食糧支援は、ぼくと、ぼくがもらった食糧を得ることができた家族の人生を変えてくれました。

ジョージくん（19歳）



# 食糧と手洗い活動を届ける

現地パートナーとの信頼関係により実現できた活動

## 緊急食糧支援

- 地域：ウガンダ共和国ルウェロ県、ジンジャ県、ケニア共和国ホマベイ県
- 目的：食糧不足に直面するHIV陽性のひとり親家庭などの最脆弱層に食糧と石鹼を提供する
- 受益者：ウガンダ 251家庭（約1506名）、ケニア90家庭（約540名）
- 期間：2020年4月～2021年2月

食糧配布の内容は、米、豆、ポシヨ（とうもろこしの粉）などの保存できて、子どもも普段から食べているものを選びました。石鹼は抗菌のものを100グラム配布しています。第3回目の配布時は生理用品や野菜の種を追加しました。

ケニアでは、PLASの受益者だけでなく、高齢の保護者家庭などにも支援の対象を広げました。また、JICA草の根委託事業FLOWERの一環として、感染予防のための手洗い水タンク、石鹼、体温計、布マスクを、ヘルスセンター12か所、病院1か所、小学校15校に配布。月に1回、6か月間に渡り、スタッフが施設に訪問し、手洗い等感染予防の指導にあたりました。正しい情報を届けるためのポスターも作成し、各施設に配りました。ポスターには子どもたちが描いた絵を使用しました。



ウガンダでは、PLASスタッフが食糧の調達から配布まで立ち会いました。現地スタッフは大量の食糧を懸命に調達し、配布時もマスクや消毒、フィジカルディスタンスなどを徹底。大きな混乱もなく無事に配布を終えることができました。食糧を受けとった人は、本当にうれしそうな笑顔で何度も「ありがとう」と伝えてくれました。歌やダンスを披露してくれた人たちもいました。「一番役に立ったものは？」と聞くと、「粉ミルク」と答えた人が多数。簡単に栄養を取ることができるのと、子どもが好きだからだそうです。不測の事態に備えて貯蓄を始めたという人も多くいました。

HIVとともに生きる多くの人と子どもの命をつなぐことができました。改めて支援して下さった皆様に、心より感謝申し上げます。



## 感謝の気持ち

コロナ渦でも笑顔を

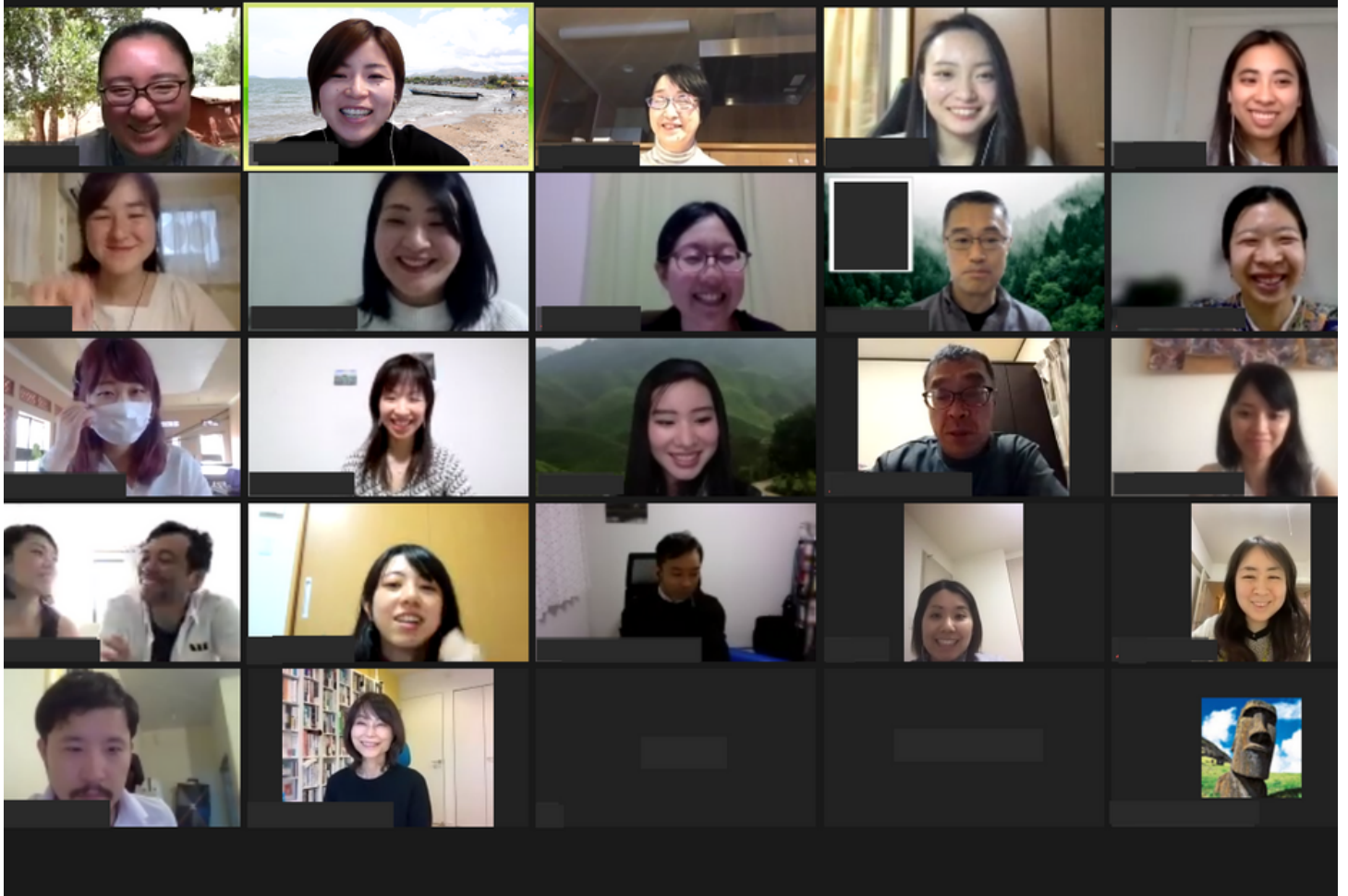
PLASを通して日本の友人たちから多大な支援をいただいたことを、ヒーレコースとして、大変喜ばしく、そして有難く思います。

私たちは、HIV陽性のシングルマザーが子どもたちの世話をするためのCAFÉ事業など、PLASによりもたらされた全てのプロジェクトに感謝しています。2020年2月から発生したコロナパンデミックの際、HIVの人々の生活を笑顔にし、変化させ、継続させてくれた大きな支援に感謝しています。

ムシシ  
ヒーレコース  
代表



デイングしています...



## 国内での活動

対面での温かなつながりを、リモートでも実現するために

今年も新型コロナウイルス感染拡大の影響とともに歩んだ1年となり、スタッフ・インターン生の在宅リモート勤務が約1年半に渡って継続。そのような中で、2020年11月にはオフィスを秋葉原から恵比寿へ移転し、シェアオフィスに切り替え固定費の削減に努めました。

主催イベントはすべてオンライン、スタッフはリモート勤務と、一度も対面で会わないまま卒業するインターン生も少なくありませんでした。ご支援者のみなさんやPLASのメンバーから団体の良さとして挙げられることが多かった「温かさ」をオンラインでも醸成するには何ができるか、試行錯誤しながらの1年間でした。

また、昨年度に刷新したミッション・ビジョンにあわせてブランディング・タスクフォースを立ち上げ、PLASの「ブランド価値」の再定義にむけて議論を重ねました。

## 多くの気づきに感謝

自分自身を知るきっかけに

積極的で明るい職員やインターン生のみなさんに支えられながら業務を遂行することができました。また同じ作業の繰り返しだけではなく、インターンという立場でも新しいことに挑戦したり起案したりする機会がたくさんあるため、毎回刺激を受けながら、自分の強み・弱みにも気づかせてくれる素敵な経験となりました。私に関心のある途上国支援という分野で、インターンとして多くのことに気づかせてもらったPLASに感謝の気持ちでいっぱいです。



柳田和那子  
インターン



# チャリティーオークション

51名の皆さまにご協力いただきました！

今年度は通年でチャリティーオークションを実施、合計51名の方にご協力いただき、6,562,813円を現地への支援としてお預かりすることができました。多くのご協力に感謝いたします。

## 【全ご協力者様（敬称略・五十音順）】

相羽あいな、岩明均、上野水香、海野つなみ、オカダ・カズチカ、荻野貴司、甲斐拓也、上白石萌音、カナヘイ、カメントツ、川浦良枝、窪塚洋介、倉知玲鳳、黒羽麻璃央、小林裕介、紺野美沙子、坂本冬美、櫻井孝宏、櫻川めぐ、澤穂希、シゲタサヤカ、シッド・カフカ、杉山愛、鈴鹿央士、ずん、瀬戸あゆみ、反町隆史、高橋留美子、田中雅美、棚橋弘至、柄本弾、津田健次郎、つるの剛士、内藤哲也、ナオト・インティライミ、中村奨吾、野村萬斎、爆笑問題、羽生善治、氷川きよし、平野啓一郎、広末涼子、古川愛李、my、松下奈緒、三浦友和、水谷駿、森進一、ヨシダナギ、代永翼、和田毅



## イベント

オンライン開催で遠方からも気軽に参加できる場に

2020年10月から2021年9月までに19回のオンラインイベント「PLASチャンネル」を開催し、累計282名がご参加。テーマはPLASの活動紹介をはじめ「JICA海外協力隊OG/OBトーク」「ソーシャルビジネスと国際協力の可能性と課題」「国際協力30代のキャリア」など幅広いテーマを切り口に開催。ご支援者Thanksイベントでは、ウガンダからのオンライン中継やグループワークをお届けしました。



## 継続して参加したいイベント

新たな発見に出会える場に

PLASさんのオンラインイベントはいつ参加をしてもウェルカムな雰囲気、少人数のグループに分かれる時間があつたりもするので質問をしたり、対話しやすいのがとても魅力的です。様々な視点での活動紹介やワークショップを企画して下さるので毎度新たな発見があり、継続して参加したいと思うのです！オフライン開催もできるようになることを楽しみにしています。

藺森絢子さん  
イベント参加者



# 人事制度改革

なりたい自分を実現できる組織をめざして

活動を担う職員が安心して働き続ける組織をめざして、2020年1月から人事制度改革に取り組んできました。人事コンサルティング会社でのご経験を持つ3名のプロボノの伴走支援のもと、等級・評価・報酬の3つの視点から新たな人事制度を策定・導入しました。個人が価値観、ライフステージ、年齢などに関わらず、多様な関わり方を選択でき、前向きに働くことができる組織となるよう、3つのことに取り組んでいきます。

1. 社会を変える意欲を持った職員が安心感して働ける組織をめざす
2. 中長期的なキャリアビジョンを描ける組織をめざす
3. それぞれの価値観や生き方がありのままに受け入れられ、自分らしく働ける組織をめざす

## NPO運営のあるべき姿を制度設計から

企業で働きながら伴走支援

1年ほど前からプロボノとしてPLASさんの人事制度の設計に関わらせていただきました。普段企業で働く私にとって、今回の経験はNPOならではの組織運営の考え方に触れ、そのあるべき形を考え抜く貴重な機会となりました。難しいこともありましたが、1年間PLASの皆さんと一緒に仕事ができたと、そしてその結果として、今後の組織を支える人事制度を設計できたことに、大きなやりがいと喜びを感じています。



プロボノ  
永田 諭史さん

# 法人連携

多様な連携でひろがる可能性

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けながらも、これまで継続して連携頂いてきた法人様からは、継続して連携いただくことができました。自社製品を通じたご支援や、社内のマッチング寄付制度でのご支援など、多様なお力添えをいただきました。



## セールスフォース・ドットコム様

社員一人ひとりが自分なりの方法で貢献できる機会に

創業当時より「1-1-1モデル」という、就業時間の1%（ボランティア）、株式の1%（助成金・寄付）、製品の1%（ライセンス提供）を活用してコミュニティに貢献する社会貢献モデルに取り組んでいます。PLAS様には、延べ284名が活動報告会や、団体内でのSalesforce活用に向けたプロボノ支援で一緒させていただきました（うち製品活用支援は6名で約80時間）。また、その中で活動に共感した社員がマッチング寄付でのご支援。社員一人ひとりがこのような形で社会課題について理解し、自分なりの方法で貢献できる機会をいただけることに感謝申し上げます。

## パッケージアート様

チャリティーオークションの梱包資材で支援を

当社は1952年創業のダンボール加工、梱包・包装提案を事業としている会社です。PLAS様とは2012年から商品のご注文をいただいております。その時からの付き合いとなります。

2017年にチャリティーオークションを開催される際に、梱包資材をご支援いただけないかとご相談をいただき、活動に貢献できるのであれば是非とご返事をさせていただきました。チャリティーオークションに微力ながら関わることや、ご支援ができることを嬉しく思っております。今後もご協力させていただければと思います。



【支援/協力頂いた企業・団体様（順不同/敬称略）】株式会社バリューブックス、株式会社GME、株式会社 BORDERLESS JAPAN、株式会社 STYZ、特定非営利活動法人 レッドリボンさっぽろ、カトリック高輪教会、ニチレイマグネット株式会社、株式会社ラントリップ、株式会社 ナチュラルプランツ、JAMMIN合同会社、freee株式会社、ヤフー株式会社、ソフトバンク株式会社、かみひとねっとわーく、株式会社イデアインターナショナル、パッケージアート株式会社



## 助成金・補助金

現地のニーズと組織強化にご支援いただきました

新型コロナウイルスの感染拡大は徐々に収まっていますが、困窮する家庭や子どもたちは取り残されています。そのような中で、現地の活動と組織強化を後押しする助成金・補助金を多数いただきました。また、本年も継続してJICA草の根技術協力事業としてPLASがケニアで行う「エイズ孤児を抱える貧困家庭の生計向上とキャリアプランニング支援事業」に補助金をいただきました。

【助成金・補助金一覧（順不同）】JICS NGO支援事業/AINプログラム | 「食と健康」国際協力支援プログラム/連合・愛のカンパ「中央助成」/大阪コミュニティ財団（青少年の健全育成）/国際協力財団「国際協力NPO助成 成長型事業 ムラのミライ・伴走支援事業」/JICA草の根技術協力事業

## オンラインで多くの人と交流を深めた一年

プロボノとしてつづけたPLASの後方支援

PLASの職員を退職してから、プロボノとしてオンラインイベントを中心にお手伝いしています。オンラインイベントでは普段交流することのできない関東圏以外にお住いの方やアフリカにお住まいの方にも参加していただきました。

PLASの活動紹介だけでなく、「国際協力」「ソーシャルビジネス」「キャリア」等々幅広いテーマで支援者の皆さんと意見交換できました。私自身みなさんと意見交換する中で新しい価値観や視点を増やすことができました。国際協力に関わっていると、「この支援でいいのか」「支援をすることで逆に格差が開いていないか」という疑問が付きものです。そのような疑問や問いを声に出して、議論することで自分の中で目指しているものが整理されていくことができました。これからも、プロボノとして支援者の皆さんと交流を深めながら、今後のPLASの活動がさらに多くの人に届き、前向きに生きられる社会になるようにPLASの後方支援をしていきたいと思えます。



プロボノ  
三関理沙





## 多くの仲間と共に

PLASを支える仲間たちの声

PLASの活動には多様なバックグラウンドの方たちが関わっています。ご支援者の皆さまをはじめ、理事やインターン生などさまざまな関わり方で活動に携わっていただいています。2021年度もたくさんのご支援・お力添えをいただきました。心より感謝申し上げます。



### 新しい取り組みを行いながら一人ひとりに寄り添う活動を

PLASの良さは現場の声を柔軟に活動に取り入れる現場力と、NFT チャリティやチャリティオークション等に日本に根付いたネットワークと知見を活かした新しい取り組みの融合ができる点です。一人の理事として、こうしたダイナミックで先進的な風土は更に推し進めると共に、応援してくれる人、更にPLASを通じて支援を届ける現地の一人ひとりがPLASと共にいたいと思ってもらえる団体になるよう、これからも応援します。（理事 赤尾 邦和さん）



### ささやかでいい。行動する人たちを応援したい

遠いアフリカの縁もゆかりもない人たち、その苦しみ悲しみを知ってしまったからにはほっておけない、そんな人たちが日本にいるんだ。びっくりしました。自分はそういう人間ではないけれど/ないだけに、PLASを知ってしまったからには、応援しないわけにはいきません。本当にささやかにですが。（マンスリーサポーター 柳原 透さん）



### 現場を支えるサポーターとして国際協力に関わりつづける

中学時代に世界の子供たちの貧困問題を知ってから国際協力に興味を持っていましたが、まったく違う職業を選んでしまったため、現場で活動する方々をマンスリーサポーターとして応援することにしました。活動報告等から伝わるPLASの方々のひたむきな努力に敬意を表し、今後も支援を続けていきます。（マンスリーサポーター 宮田 真央さん）



# 活動計算書

| 科目           | 金額         |            |            |
|--------------|------------|------------|------------|
| I 経常収益       |            |            |            |
| 1. 受取会費      |            |            |            |
| 賛助会員受取会費     | 30,000     |            |            |
| 正会員受取会費      | 78,000     | 108,000    |            |
| 2. 受取寄附金     |            |            |            |
| 受取寄附金        |            | 14,015,457 |            |
| 3. 受取助成金等    |            |            |            |
| 受取民間助成金      |            | 2,546,315  |            |
| 4. 事業収益      |            |            |            |
| 事業収益         |            | 195,600    |            |
| 5. その他収益     |            |            |            |
| 受取補助金        | 14,944,000 |            |            |
| 受取利息         | 1,761      |            |            |
| 雑収益          | 228,919    | 15,174,680 |            |
| 経常収益計        |            |            | 32,040,052 |
| II 経常費用      |            |            |            |
| 1. 事業費       |            |            |            |
| (1) 人件費      |            |            |            |
| 給料手当         | 11,279,729 |            |            |
| 法定福利費        | 826,985    |            |            |
| 人件費計         | 12,106,714 |            |            |
| (2) その他経費    |            |            |            |
| 福利厚生費        | 40,639     |            |            |
| 会議費          | 34,318     |            |            |
| 旅費交通費        | 1,746,656  |            |            |
| 通信運搬費        | 336,128    |            |            |
| 消耗品費         | 196,857    |            |            |
| 業務委託費        | 14,102,024 |            |            |
| 支払手数料        | 629,180    |            |            |
| 地代家賃         | 235,411    |            |            |
| 印刷製本費        | 20,028     |            |            |
| 租税公課         | 1,768,300  |            |            |
| 研修費          | 11,658     |            |            |
| 保険料          | 56,328     |            |            |
| 雑費           | 23,668     |            |            |
| その他経費計       | 19,201,195 |            |            |
| 事業費計         |            | 31,307,909 |            |
| 2. 管理費       |            |            |            |
| (1) 人件費      |            |            |            |
| 給料手当         | 1,123,097  |            |            |
| 法定福利費        | 86,442     |            |            |
| 人件費計         | 1,209,539  |            |            |
| (2) その他経費    |            |            |            |
| 旅費交通費        | 18,748     |            |            |
| 通信運搬費        | 81,180     |            |            |
| 消耗品費         | 23,716     |            |            |
| 業務委託費        | 24,448     |            |            |
| 支払手数料        | 470,362    |            |            |
| 地代家賃         | 318,366    |            |            |
| 印刷製本費        | 33,431     |            |            |
| 諸会費          | 55,000     |            |            |
| 雑費           | 113,744    |            |            |
| その他経費計       | 1,138,995  |            |            |
| 管理費計         |            | 2,348,534  |            |
| 経常費用計        |            |            | 33,656,443 |
| 当期経常増減額      |            |            | -1,616,391 |
| 税引前当期正味財産増減額 |            |            | -1,616,391 |
| 法人税、住民税及び事業税 |            |            | 903,500    |
| 当期正味財産増減額    |            |            | -2,519,891 |
| 前期繰越正味財産額    |            |            | 14,909,853 |
| 次期繰越正味財産額    |            |            | 12,389,962 |

「受取寄附金」には、マンスリーサポーターや個人からの都度寄付、法人寄付などが含まれます。

「受取補助金」には、昨年度より開始したJICA草の根技術協力事業の資金が含まれています。

「事業費」にはアフリカでの支援活動と日本での啓発活動の両方が含まれます。

「業務委託費」は、主に現地パートナー団体と共にすすめる支援事業に係る費用です。例えば緊急支援事業では食糧の購入費や配布のための交通費などはこの部分に該当します。

「地代家賃」は事務所を移転したため前年より大幅に削減されました。

「支払手数料」には海外送金や寄付の決済の際の手数料が含まれます。

# 貸借対照表

(単位：円)

| 科目         | 金額         |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| I 資産の部     |            |            |            |
| 1. 流動資産    |            |            |            |
| 現金預金       | 16,633,037 |            |            |
| 流動資産合計     |            | 16,633,037 |            |
| 2. 固定資産    |            |            |            |
| 固定資産合計     |            | 0          |            |
| 資産合計       |            |            | 16,633,037 |
| II 負債の部    |            |            |            |
| 1. 流動負債    |            |            |            |
| 未払金        | 885,334    |            |            |
| 未払法人税等     | 903,500    |            |            |
| 未払消費税等     | 1,768,300  |            |            |
| 預り金        | 685,941    |            |            |
| 流動負債合計     |            | 4,243,075  |            |
| 2. 固定負債    |            |            |            |
| 固定負債合計     |            | 0          |            |
| 負債合計       |            |            | 4,243,075  |
| III 正味財産の部 |            |            |            |
| 前期繰越正味財産   |            | 14,909,853 |            |
| 当期正味財産増減額  |            | -2,519,891 |            |
| 正味財産合計     |            |            | 12,389,962 |
| 負債及び正味財産合計 |            |            | 16,633,037 |

# 監査報告書

## 監査報告書

特定非営利活動法人エイズ孤児支援 NGO・PLAS  
代表理事 門田 瑠衣子様

2021年12月23日  
監事 藤本 俊明  
監事 矢崎 芽生



私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人エイズ孤児支援 NGO・PLAS の2020年度（2020年10月1日～2021年9月30日）の業務及び会計の状況について監査を実施いたしました。

理事の業務執行に関する監査にあたっては、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取しました。また財産の状況に関する監査にあたっては、財務諸表等（活動計算書、貸借対照表、財務諸表の注記及び財産目録）と証拠書類等との照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、理事の業務執行は、法令、定款及び事業計画に基づき適正に執行され、不正の行為または法令・定款に違反する重大な事実はないことが認められました。

また、法人の財産の状況は、NPO法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されているものと認められました。

以上

藤本俊明   
矢崎芽生 



# 予算・実績対比

| 項目名  |       | 予算         | 決算         | 予実%        |          |
|------|-------|------------|------------|------------|----------|
| 経常収益 | 会費    | 220,000    | 108,000    | 49.09%     |          |
|      | 寄付    | 18,649,650 | 14,015,457 | 75.15%     |          |
|      | 助成金   | 2,385,000  | 2,546,315  | 106.76%    |          |
|      | 補助金   | 16,000,000 | 14,944,000 | 93.40%     |          |
|      | 事業収益  | 352,000    | 195,600    | 55.57%     |          |
|      | 受取利息  | 0          | 1,761      |            |          |
|      | 雑収入   | 0          | 228,919    |            |          |
|      | 経常収益計 | 37,606,650 | 32,040,052 | 85.20%     |          |
| 経常費用 | 事業費   | 人件費        | 12,273,600 | 12,106,714 | 98.64%   |
|      |       | その他経費      | 19,864,579 | 19,201,195 | 96.66%   |
|      |       | 事業費計       | 32,138,179 | 31,307,909 | 97.42%   |
|      | 管理費   | 人件費        | 1,200,000  | 1,209,539  | 100.79%  |
|      |       | その他経費      | 3,564,656  | 1,138,995  | 31.95%   |
|      |       | 管理費計       | 4,764,656  | 2,348,534  | 49.29%   |
|      | 経常費用計 |            | 36,902,835 | 33,656,443 | 91.20%   |
|      | 経営増減額 |            | 703,815    | -1,616,391 | -229.66% |

## みなさまのご支援が原動力に

「日常」を取り戻す1年に

2021年度は新型コロナウイルスの感染拡大による影響から少しずつ通常の活動を取り戻した1年でした。昨年度は渡航や現地事業の制限によって経常費用が大きく減少しましたが、今年度は渡航や活動の再開にともない、予定していた支出の約91%を達成することができました。経常収益は、チャリティオークションや補助金、事業収入など目標を下回ったものが影響し達成率は約85%でした。

昨年11月には秋葉原から広尾に事務所を移転し、事務局の運営はリモートワークを継続しています。場所を問わず全国・世界各地からPLASの活動を支え、携わってくださったみなさんに心より感謝申し上げます。来年度も「取り残された子どもたちが前向きに生きられる社会」を目指し尽力します。応援どうぞよろしくお願い致します。

事務局長  
小島美緒



# Thank You



ご支援、ご協力をお願いします

## サポーター

月1000円～の寄付  
で子どもたちを支  
援するマンスリー  
サポーターにご支  
援・ご参加をお待  
ちしています！



## SNSでPLASとつながる

様々なSNSでアフリカから  
のレポートやPLASの最新情  
報をお届けしています。  
ぜひPLASとつながってくだ  
さい！



特定非営利活動法人

## エイズ孤児支援NGO・PLAS

<https://www.plas-aids.org/>

〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-23-5 長谷部第一ビル402号室  
03-6821-1758 info@plas-aids.org

理事：門田溜衣子（代表理事）、一宮暢彦（副代表理事）、赤尾邦和、小島  
美緒、鶴見和雄、横山裕司、藤本俊明（監事）、矢崎芽生（監事）

設立：2005年12月

